

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっこりコラム

市長 佐竹敬久



秋田弁は立派な民俗観光資源

ある時、竿燈まつりの評判をインターネットでのぞいていたら、「市長が秋田弁なまりの英語でスピーチをする迫力ある祭り」というような観光客の書き込みがありました。

「レディス、アンド、ジェントルマン…」と、毎年本部前のやぐらの上から英語でも歓迎のあいさつをしています。私としては、なまりのある人でも歌はなまらないものだと言われますので、てつきり英語もなまらないものと独り合点し、しかも市長の英語は良かったなどと、おだてられることもありそうです。そこそこ流暢な英語かなと思っていました。ところが、やっぱりでした。

思い起こせば、昭和三十年前後の私の小学校時代には、共通語教育というものが重視されました。秋田弁、すなわち方言は「悪い言葉」として定義づけられ、学校内で口にすれば赤いリボンを胸の所に虫ピンで刺され、リボンが十ケになれば反省文を二百字などという、今思えば滑稽なことがあったように記憶しています。しかし、関西人や九州人は、今で



も、相手が分かるうが分かるまいが、独特の関西弁や九州弁を、臆することなく堂々と口にします。はたして関西や九州では、その時期に我が地と同様に共通語教育が行われたのか、今にして思えば興味深いことです。

さて私の場合には、秋田弁なまりは直しようがないものの、話の内容が相手に理解されなければどうしようもないので、外では一応共通語的言語(?)を使うようにしています。しかし妻が同郷なこともあり、家では

子どもも理解不能なような仙北弁がかった秋田弁丸出しの生活です。

そんなことで、公の席で秋田弁を思いつき使ってみたい思いに駆られていたところ、絶好のチャンスが訪れました。先般、大阪出身の北側一雄国土交通大臣をお迎えして開催された観光シンポジウムのレセプションの席上で、あいさつを兼ねた乾杯の音頭の役をいただいたのです。やりました、百パーセント秋田弁で、なまり丸出しの秋田弁で…。

最初、会場はキョトン、そのうちに大爆笑、大臣にお聞きしたところ、七割方分からなかったが、秋田に来た実感がわいたという評価でした。

秋田を元気にするためには、内にこもらず秋田弁を立派な民俗観光資源くらいにとらえ、郷土に自信を持つことが必要なのではないでしょうか。

私が全国会議などで熱を帯びてしまい、ついつい秋田弁まじりになってしまった場合には、議事録を作る事務局から内容の確認の問い合わせが間々あるにはありますが…。



へそ踊りコンテスト へそで観衆を沸かせちゃおう！

へそ踊りコンテスト
参加者募集！

6月5日(日)、河辺の“へそ公園”(河辺岩見字鶴養^{たづな})で開かれる「第19回へそまつり」のへそ踊りコンテストに参加しませんか。入賞者には景品もあります。
楽しい衣裳、音楽、振り付けを考えて、個人や仲間同士でぜひ参加してください。

- 定員** 個人、グループ、合わせて15組。応募多数の場合は抽選
- 募集期間** 5月2日(月)から20日(金)まで
- その他** 音楽テープ、CDなどは各自でお持ちいただきます。1曲3~5分の長さとしします
- 申し込み** 個人の場合は住所、氏名、電話番号を、グループの場合は、代表者の住所、氏名、電話番号、参加人数を、へそまつり実行委員長の伊藤廣司さんへご連絡ください。tel(883)2466

問い合わせ
河辺市民センター産業班tel(882)5162
へそまつりの詳細はあらためて広報あきたでお知らせします。

何で“へそ”？



秋田県の形を長方形に見立てると、その対角線が、ちょうど河辺の鶴養地区で交差することから、昭和61年から「へそのまち」と呼ぶようになりました。へそ公園内にある中心点には、おへそのような丸い石が置いてあるから探してみてね！

河辺雄和 ほっとライン



センターの前で記念撮影

雄和左手子交流センターが完成 ぬくもりある 素敵な建物に

4月16日、雄和左手子交流センターの完成祝賀会が開かれました。長年使われてきた左手子自治会館を建て直したもので、木造平屋に和室が2部屋。地元の秋田杉がふんだんに使われていて、ぬくもりが感じられる建物になりました。祝賀会では、左手子自治会長・佐々木隆さんが「地域のみなさんはじめ、多くのかたがたの協力を得て完成した交流センターを、大事に末長く使っていきます」と感謝のあいさつを述べました。
参加者からは、さっそく「ちょっとしたおしゃべりの場にも使いたい」といった声も…。地域の交流がますます明るく楽しくなりそうです。



5月12日(木)・13日(金) 岩見ダムで演習

梅雨、台風シーズンを前に、岩見ダムでは5月12日(木)・13日(金)に、ダム管理演習を行います。

当日は、岩見ダムの計画規模以上の大洪水を想定した演習となりますので、岩見ダムから柳町警報所までのサイレンを鳴らします。川沿いにお住まいの皆さんにはご迷惑をおかけしますが、洪水期における警報、関係機関への通報、ダム操作などを的確に行うための演習ですので、ご理解のほどよろしくお願いします。

なお、**演習にともなうダムの放流はありません**のでお間違いなく。

問い合わせ 秋田地域振興局建設部岩見ダム管理事務所tel(883)2301